

WeWork Japan (高松市)

ワーケーション先	香川県高松市
日程	11月20日～25日
参加者数	1人
ワーケーション内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高松市役所と関係人口の創出や持続可能なまちづくりについて意見交換 ・塩江温泉観光協会の方と関係人口ツアーについて情報交換 ・Setouchi-i-Base (コワーキングスペース) や高松市塩江紅葉祭りの見学 ・コワーキングスペース「鋤と本」や「ビーチオフィス女木島」の見学と利用体験 など
参加理由	<p>WeWork 品川にて実施した「関係人口創出」をテーマとした高松市東京事務所主催イベントをきっかけに、実際に高松市塩江町を訪れ、地域で取り組まれているまちづくりや企業の活動を体験したいと考え、本事業に参加しました。単なる視察ではなく、地域の方々と直接対話し、現場で感じた魅力や課題を首都圏の企業コミュニティへ持ち帰ることで、具体的な共創アクションへとつなげることを目的としました。</p>
訪問して感じたワーケーション先自治体の魅力	<p>高松市は、「街」「山(塩江町)」「島(男木島・女木島)」という多様なエリアを持ち、それぞれに異なる魅力が存在することがわかりました。</p> <p>自治体、地元企業や町民の皆さまとの交流、意見交換を通し、持続可能なまちづくりや、主体的に外部との接点をつくろうとしている姿勢に可能性の広がりを感じました。そして、島のコワーキングスペース「鋤と本」や「ビーチオフィス女木島」にて体験した、自然環境と働く場が融合した新しいワークスタイルも大変興味深いものでした。</p> <p>また、自然や施設の素晴らしさはもちろん、どの場所でも“人の想い”がまちづくりの中心にあり、「この地域をより良くしたい」という一人ひとりの行動が、高松市の最大の魅力だと感じました。</p>
今回のワーケーションで得た気づき	<p>地元企業、観光協会、コワーキングスペースの運営者など、通常個人訪問では出会えないキーパーソンとの対話を通し、彼らが首都圏とも接点を持ちながら活動し、価値を生み出している姿に、ビジネスマッチングや共創など、具体的な連携につながる手応えを感じました。</p> <p>また、自治体を経由するワーケーションだからこそ、地域課題の実情を共有いただきながら、企業としてどのような関わり方ができるのかを具体的に検討することができました。</p> <p>ワーケーションは「働く場所を変えること」だけではなく、「地域と継続的な関係性を築く入口」であると実感しました。</p>
本事業に参加した感想	<p>単発の滞在ではなく、都市と地域をつなぐハブとしての役割を担える、本事業の大きなポテンシャルを感じました。</p> <p>高松市には、共創の種が多く存在しています。その種を見つけ、育てるための貴重な機会でした。我々の次の展開として、本事業を通して出会った塩江町の関係者の皆様を、WeWork 品川のイベントへ招待するなど、継続的な連携が始まっています。</p>

今後も、高松市との関係を継続しながら、首都圏企業と地域をつなぐ取り組みを広げていきたいと考えています。





